



# ふくしのお便り

2022. 8月

## 黒井地区 つどいの場意見交換会を開催しました。

黒井地区では、ふれあいいいききサロンが10団体、いきいき百歳体操が12団体、活動されています。社協には、コロナ禍で「開催するか迷っている」「参加者が減った」といった、つどいの場の相談が寄せられています。集まることの目的や効果について再確認した後、活動を継続するための運営課題や最近参加されていない方への声かけの方法、続けていくコツなど、日頃の活動の様子について話し合いました。



### どんな声かけをしていますか？

- ・体調変化により参加しなくなった人には、「いつでも参加してね」と訪問している。
- ・欠席者には声をかける。
- ・もともと参加されていない方への声かけ。

### 工夫していることは？

- ・（対象となる方に）個人名で開催案内を渡している。
- ・メールで連絡もできるが、紙に書いて渡さないと伝えない。
- ・自治会内に高齢者の世話人の役をつくって、連絡等をしてもらっている。
- ・おしゃべりをしたい人もいるだろうし、静かに過ごす人もいる。いい距離感を保って開催している。
- ・デイサービスや病院の日と重ならないように気を付けている。
- ・自治会の掲示板を活用している。
- ・来てくれるだけでいい。細かいことは言わない。

### 春日地域の開催状況

ふれあいサロン: 32サロン  
いきいき百歳体操: 32サロン

●体調が悪くなると、ご家族の方が「迷惑がかかるから行くのをやめます。」と言われるとのこと。でも来てほしいから、「元気になったら来てくれよってゆうとるんや。」と話されていました。「もう来ないから」ではなく、来る来ないに関わらず、声をかけておられることは、素敵なことだと思いました。

●ふれあいサロンやいきいき百歳体操以外にも、地域の中には定期的に集まっておられる場所があります。多様性＝選択肢が増える。色々な集いの形があることは、豊かな地域につながっていくと思います☆彡

## つどいの場はこんなところがイイ！

良いところ①  
閉じこもりの特効薬

良いところ②  
健康や生活の  
情報を得やすくなる

良いところ③  
生活に  
メリハリができる

良いところ④  
声を掛け合い  
つながりが持てる

# 「夏休み！ふくし体験教室！」

‘理解したい’と思うことが大切



春日支所では、夏休み中の小学生を対象にふくし体験教室を行いました。内容は身近な福祉の話、「レクリエーションボッチャ」の体験、手話サークル「おやゆび姫」さんによる手話講座でした。

「手話で耳の聞こえない人と話せて楽しかった」「コミュニケーション方法がたくさんあることが分かった」「レクリエーションボッチャが楽しかった」という感想がありました。



障がいの有無にかかわらず、お互いの違いを受け入れ、理解し、支えあうことが、「誰もが安心して暮らせる地域」に繋がっていくと思います。子どもだけでなく大人も体験から学んでみませんか？

社協春日支所までお問い合わせください！

しゃきょうたすけあいフードドライブにご協力いただき、ありがとうございました

春日地域：  
10世帯・21名の  
申し込みがありました

皆様のご協力で、食料品や日用品を多く集めることができました。

いただいた物品は、生活に困っておられる方を対象に配布させていただきます。ありがとうございました。常設のフードドライブも実施しております！

